

命口説（ぬちくどうち）

本調子

工	四	乙	四	合	尺	工	合	尺	工	五	七	五	工

尺	工	五	工	尺	上	老	上	尺	工	合	尺	工
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

五	工	尺	工	四	合	尺	工	五	四	乙	四	合	尺	合
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

乙	四	上	四	工	四	乙	四							
---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--

# 命口説（ぬちくどうち）

本調子

2 / 2

一、1 行じやる戦争（いくさ）や 覚  
出ちん

二、5 命ただ一ち ひさぎやい

見ぬ毛立ちさみ 恐ろしや  
此の世ぬ地獄や ありどうやる

島尻中頭 国頭とう

過ぎてい過ぎたし 忘ららん

2 日ぬ丸揚ぎとてい 竹やり  
命や預けてい 国ぬ為

6 海山川ぬ 形までい

変わい果ていたる 我がウチナ

エイヤエイヤとう 勤みたん

1 如何し呉みせか 神仏

3 君に忠孝 信じとうてい  
島人諸人 命身かき  
護てい護たる 事やし

7 あぬ洞窟此ぬ洞窟 隠りとてい  
命やようよう もうきていん

親、兄弟、子、孫や 散りじり

4 艦砲射撃 雨あられ  
あたら生り島 散々に  
火の海火の山 なちねらん

8 如何に物言わん 草木やていん  
命あるたみし 焼かりりば  
アキヨくとう 泣かなうちゆみ

三、9 戦争（いくさ）起くちやし 何  
ぬ為か  
戦争（いくさ）始みた 誰やゆ  
が 神ぬ仕業か 人故か

10 戦争世しぬぐ 平和（みるく  
）世ん  
迎えるさみとう思ば ありく

ん 国ぬユサユサ 果ていや無ら

11 幾年月日 経るたとてい  
ウチナー御万人 あぬ戦争工  
イ 子や孫に語らとうてい  
何時まで忘んな 命口説